

富山市黒川流域の哺乳類

南部久男¹⁾・後藤優介²⁾・福田 保³⁾

- ¹⁾富山市科学博物館 〒939-8084 富山市西中野町1丁目8-31
²⁾立山カルデラ砂防博物館 〒930-1405 中新川郡立山町芦峯寺字ブナ坂68
³⁾富山東高等学校 〒931-8502 富山市下飯野荒田6-1

Mammals from Kurokawa River, Toyama-shi, Toyama Prefecture, central Japan

Hisao Nambu¹⁾, Yusuke Gotou²⁾ and Tamotsu Fukuda³⁾

- ¹⁾Toyama Science Museum, 1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi, Toyama 939-8084, Japan
²⁾Tateyama Caldera Sabo Museum, 68, Bunazaka, Ashikuraji, Tateyama-machi, Toyama 930-1405, Japan
³⁾Toyama-higashi Senior High School, 6-1 Shimoiinoarata, Toyama-shi, Toyama 931-8502, Japan

要約：黒川流域の林道沿い等で哺乳類調査を行い、12種を確認した。いずれも富山県の低山の代表的な種である。イノシシの土を掘り返した痕跡がいたるところで観察され、本調査地では近年分布が拡大していることが明らかとなった。

はじめに

富山市の熊野川左岸支流の黒川流域の哺乳類相を明らかにする目的で調査を行ったので報告する。

調査地点および調査方法

黒川流域は神通川の支流である熊野川の左岸側の支流であり、黒川本流は桧峠あたりの山地（標高650m程）を源とし、約12.5km北流し、富山市東福沢で熊野川に合流する。左岸側に小佐波川、右岸側に棚ヶ原川が合流する。いずれの流域も低山を流れるが、上流部の谷は険しい。途中で水田や集落が発達する。

調査は2013年4月～11月に実施した。林道沿いを日中、または夜間車でゆっくり走行し、主に中型以上の哺乳類を記録した。また、スギ林に赤外線カメラを取りつけた。

結果及び考察

確認された哺乳類は、12種である（目録及び表1）。ハクビシンだけが外来種である。アナグマは赤外線カメラでの確認である。

キツネ、タヌキ、アナグマ、ハクビシン、ノウサギは里山の集落周辺で見られる代表的な哺乳類である。イタチは確認できなかったが、生息していると思われる。ニホンザルの群れは畑2箇所に入っているのが目撃された。

イノシシは、土を掘り返した痕跡がいたるところで目撃された他、成獣と子の群やウリ坊が目撃された。カモシカも林道沿いで目撃された。

本調査地で確認された哺乳類は、低山の代表的な中型哺乳類や大型哺乳類であり、イノシシは近年分布が拡大していると言える。

ニホンジカ *Cervus nippon* は確認できなかったが、2013年2月に棚ヶ原で確認されていることより（富山県動物生態研究会、2013）、生息している可能性がある。

なお、ツキノワグマは別途報告したが（後藤・南部、2014）、2013年秋のツキノワグマの痕跡が確認されておる。

謝辞

コウモリについてご教示いただきました村井仁

志氏、澤田研太氏に心よりお礼申し上げます。

黒川流域の哺乳類目録

- モグラ目 INSECTIVORA
トガリネズミ科 Soricidae
トガリネズミ *Sorex caecutiens*
コウモリ目 CHIROPTERA
ヒナコウモリ科 Vespertilionidae
ユビナガコウモリ *Miniopterus fuliginosus*
サル目 PRIMATES
オナガザル科 Cercopithecidae
ニホンザル *Macaca fuscata*
ウサギ目 LAGOMORPHA
ウサギ科 Leporidae
ノウサギ *Lepus brachyurus Temminck*,
1845
ネコ目 CARNIVORA
クマ科 Ursidae
ツキノワグマ *Ursus thibetanus*
イヌ科 Canidae
キツネ *Vulpes vulpes*
タヌキ *Nyctereutes procyonides*

- イタチ科 Mustelidae
テン *Martes melampus* (Wagner, 1840)
アナグマ *Meles meles* (Linnaeus, 1758)
ジャコウネコ科 Viverridae
ハクビシン *Paguma larvata*
ウシ目 ARTIODACTYLA
イノシシ科 Suidae
イノシシ *Sus scrofa*
ウシ科 Bovidae
カモシカ *Capricornis crispus*

文献

- 後藤優介・南部久男, 2014. 黒川流域におけるツキノワグマの採食痕跡. 富山の生物(53). 51-54.
環境庁, 1997. 都道府県別メッシュマップ16富山県. 環境庁, 63pp. 東京.
富山県, 2012. 富山県の絶滅のおそれのある野生生物.
富山県動物生態研究会, 2014. 平成24年度イノシシ等分布・被害状況調査委託業務報告書. pp.96

表1 確認された両生類、爬虫類のデータ

両生類

和名	確認年月日	時間	確認場所 (地名)	確認場所 (詳細)	3次メッシュ		確認物	環境	確認者	報告者	備考
					ページ	メッセージ番号					
トガリスズミ	20130623		樫木	道路わき	43	5437-6283			南部	南部	
ユビナゴコウモリ	2013		石洩		43	5437-6282			南部	南部	8/18、19:55、教頭。9/6、15:00、約30頭、1箇所に固まる。19:56、教頭。9/9、19:25、教頭。9/10、21:53、教頭。9/11、20:37、教頭。9/14、16:05、約10頭、1箇所に固まる。13:43、教頭。9/17、20:16、教頭。11/10、11:07、教頭。
ニホンザル	20130914		谷入		43	5437-6290	畑に3、道沿いに5程		南部	南部	畑に放養してあるカボチャ、栗の皮をむいて食べていた。
ニホンザル	20130631		東福沢		34	5437-7211	20頭ほどの群れ		後藤・南部	後藤・南部	網で閉った畑に進入し、捨てられていたカボチャをとり、食べる。
タヌキ	20130809		小佐波～下瀬戸		44	5437-6271	小さな個体1		南部	南部	
キツネ	20130629		樫木	道路	43	5437-6283	子供1		南部	南部	
キツネ	20130912	20:00	東黒牧	富山国際大学	34	5437-7272	1		南部	南部	
テン	20130818	夜	谷入		43	5437-6290			南部	南部	
ハクビシン	20130629		大山布目	道路横切る	34	5437-7211	1		南部	南部	集落の道路横切る
カモシカ	20130525		小佐波	白山社付近	43	5437-6270	1	道路・神社・谷川	福田	福田	道路横切る
カモシカ	20130921		小佐波～下瀬戸		43	5437-6271	300		南部	南部	
カモシカ	20130630		樫木		43	5437-6283	200		福田	福田	
アナグマ	2013		小坂		43	5437-6242	310		後藤	後藤	スギバヤシ、赤外線カメラ
イノシシ	20130622		下双領	黒川右岸水溜り	43	5437-6252	265		福田・澤田 南部	福田	
イノシシ	20130623		火土呂	道沿い・小屋脇	42	5437-6281	180		南部	南部	
イノシシ	20130715		小佐波御前山へ 向かう林道		43	5437-6251	350		南部	南部	
イノシシ	20130909	19:27	石洩	道路	43	5437-6282	240		南部	南部	
イノシシ	20130909	19:55	小佐波～下瀬戸		44	5437-6271	300		南部	南部	道路横に直径2×2.5m、高さ50cmのススキを敷いたネグラと思われるもの1個あり。

和名	確認年月日	時間	確認場所 (地名)	確認場所 (詳細)	3次メッシュ ページ メッセージ番号	標高 (m)	確認物	環境	確認者	報告者	備考
イノシン	20130818		西俣	道路	43	290	土掘り起こし		南部	南部	
イノシン	20130818		小佐波～下瀬戸	道路	43	250	土掘り起こし		南部	南部	
イノシン	20130818		壱木～芋平		43	250～ 300	土掘り起こし		南部	南部	ミョウガ3箇所程
イノシン	20130913	19:30	石測		43	240	成獣1、子(やや大きい)2		南部	南部	
イノシン	20130912	夜	日尾	畑、棚ヶ原分岐近く	43	150	成獣1、子(やや大きい)2		南部	南部	
イノシン	20130921		小佐波～下瀬戸		43	310～ 330	土掘り起こし		南部	南部	4箇所程
イノシン	20130921		小佐波～下瀬戸		43	260	土掘り起こし		南部	南部	
イノシン	20130921		小佐波～下瀬戸		43	300	土掘り起こし		南部	南部	
イノシン	20130911		東福沢		34	140			南部	南部	
ノウサギ	20130906	19:00	谷入		43	130	1		南部	南部	

3次メッシュは環境庁(1997)による。